2027年3月期 第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

Q2 Results

2026年11月4日

建設プロダクト
ヤマト

証券コード 1967

INDEX

01 2027年3月期 第2四半期（中間期）決算補足説明 *Q2 Results* … 3

02 2027年3月期 通期連結業績予想 *Forecast* … 14

03 参考資料 *Appendix* … 17

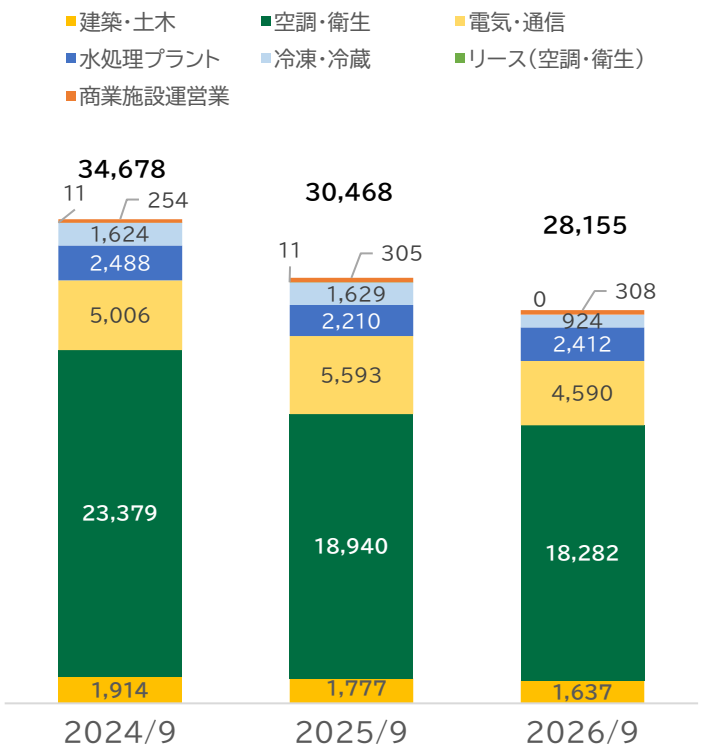
© 2026 YAMATO CORPORATION.

連結受注高・連結売上高・連結営業利益の推移

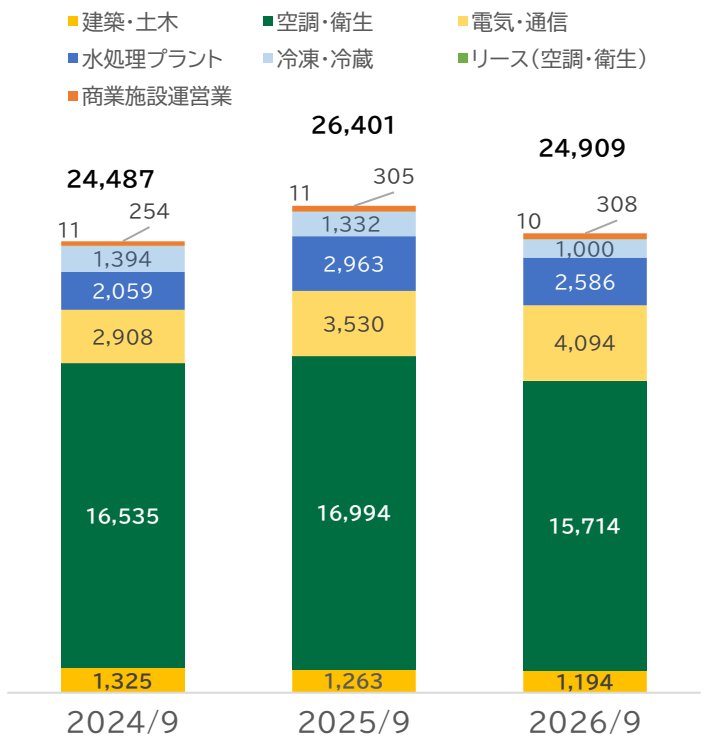
減収増益

受注高は、今後の案件を踏まえ、前年同期比7.6%減の281億5千5百万円。 売上高は、大型案件が増加するも、施工初期段階の工事が多かったことから、前年同期比5.7%減の249億9百万円。営業利益は、受注利益率の改善などにより、前年同期比9.3%増の26億4千4百万円。

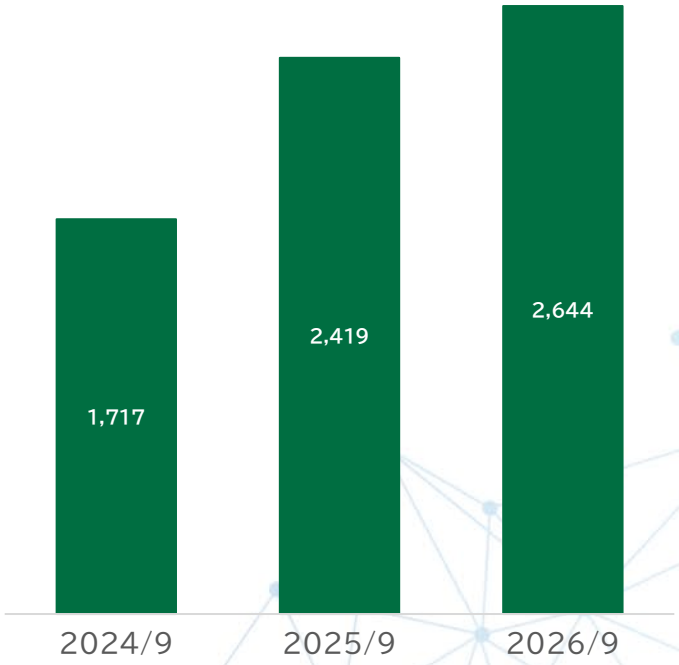
連結受注高（百万円）



連結売上高（百万円）



連結営業利益（百万円）



株式会社ヤマト © 2026 YAMATO CORPORATION.

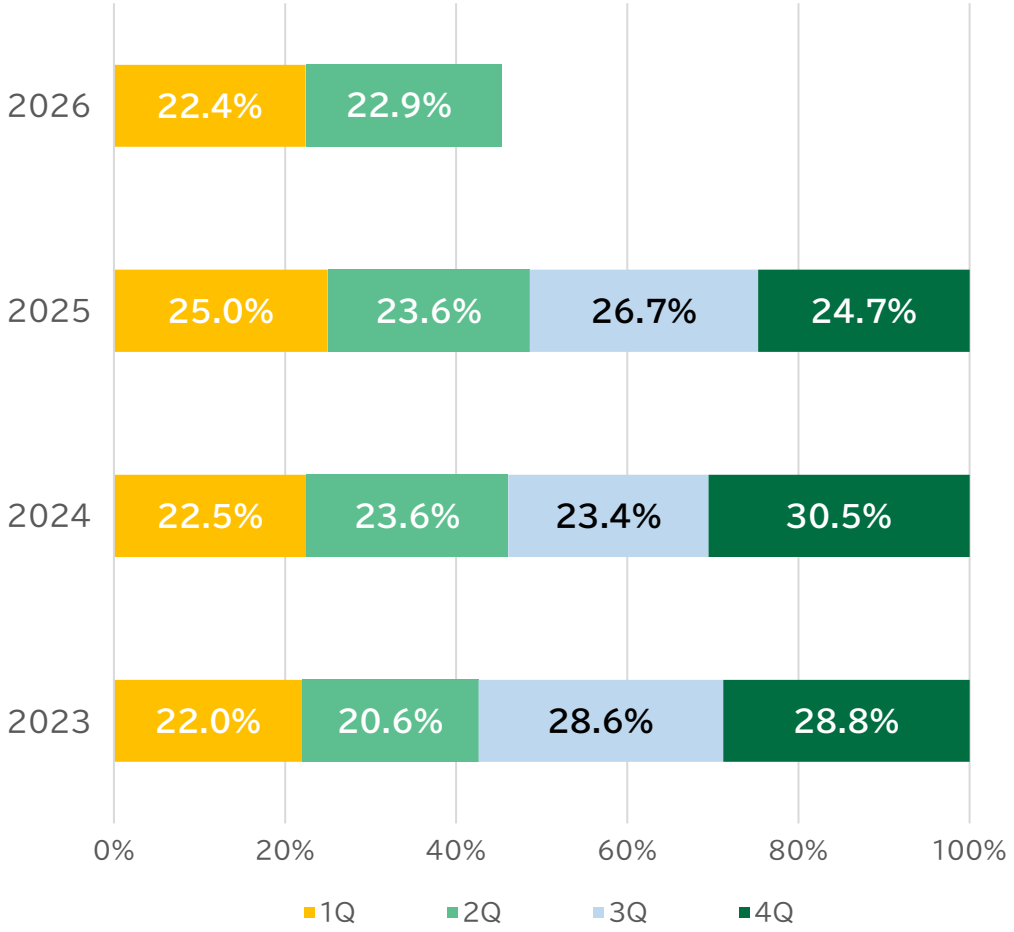
2027年3月期 第2四半期（中間期）連結決算概要

（単位：百万円）	2024/9（実績）	2025/9（実績）	2026/9（実績）	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	24, 487	26,401	**24,909**	△1,492	△5.7%
建設工事業売上高	24, 233	26,095	**24,600**	△1,495	△5.7%
商業施設運営業売上高	254	305	**308**	2	1.0%
売上総利益	3, 168	3,925	**4,271**	345	8.8%
販売費および一般管理費	1, 451	1,506	**1,626**	120	8.0%
営業利益	1, 717	2,419	**2,644**	225	9.3%
（営業利益率）	（7.0%）	（9.2%）	**（10.6%）**		（1.5pt）
経常利益	1, 994	2,760	**3,004**	243	8.8%
（経常利益率）	（8.1%）	（10.5%）	**（12.1%）**		（1.6pt）
親会社株主に帰属する中間純利益	1, 351	2,188	**2,428**	240	11.0%
（中間純利益率）	（5.5%）	（8.3%）	**（9.8%）**		（1.5pt）

© 2026 YAMATO CORPORATION.

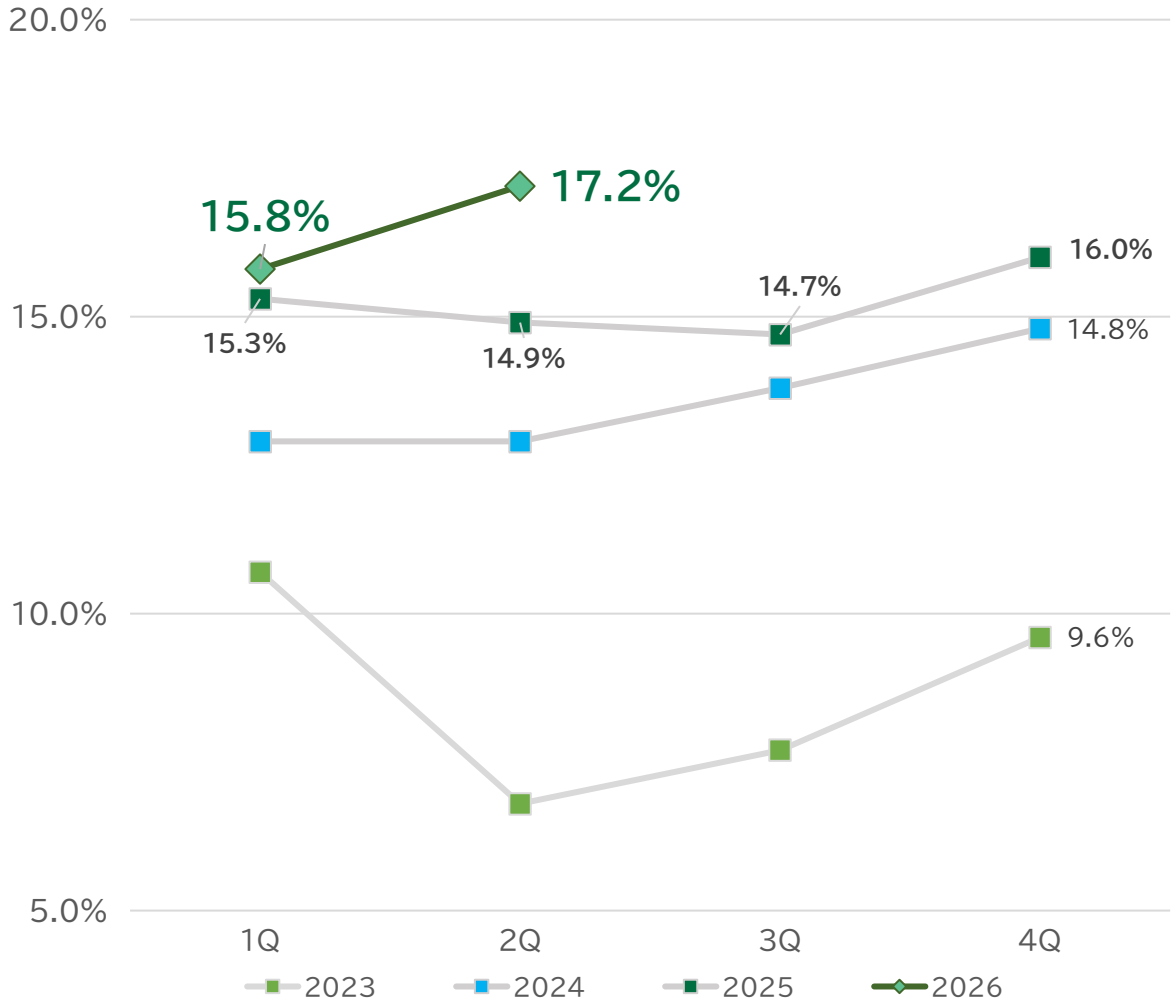
四半期毎の連結売上高進捗率と連結売上総利益率の推移

四半期毎　連結売上高進捗率



※2026年の進捗率は、通期予想の売上高を基準に算出しています

四半期毎　連結売上総利益率の推移（累計）

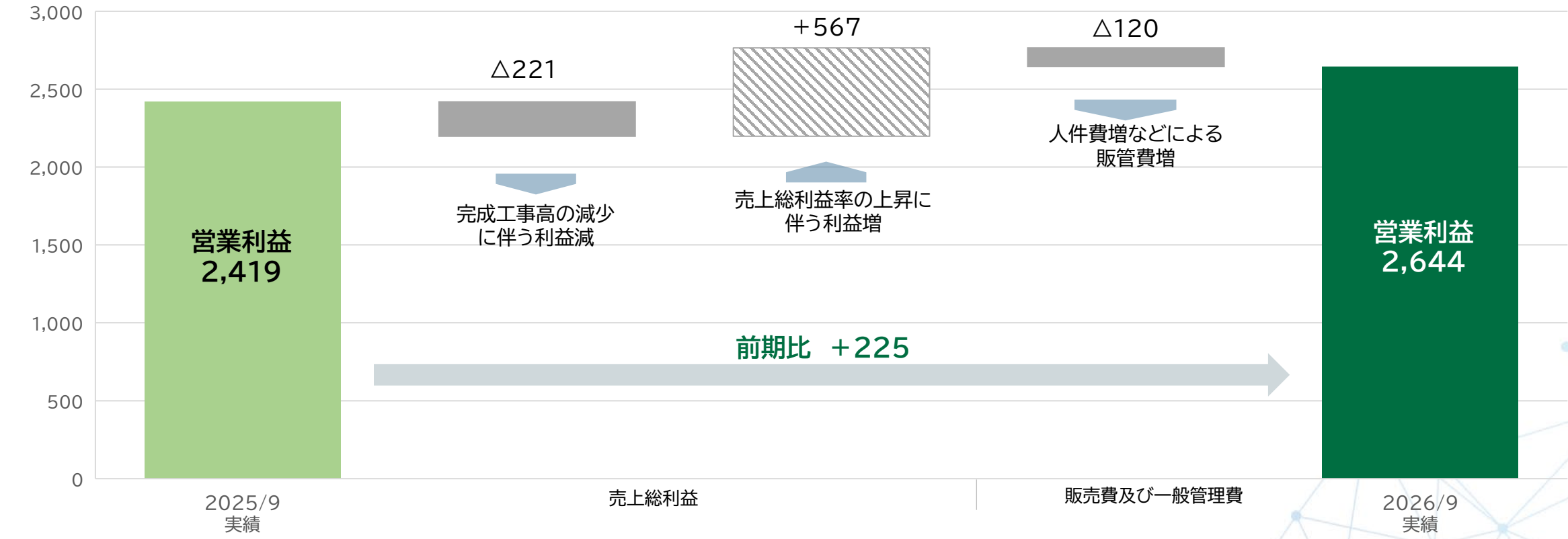


© 2026 YAMATO CORPORATION.

連結営業利益　増減要因

売上総利益率の改善が、完成工事高の減少や販売費及び一般管理費の増加を上回り、連結営業利益は前年同期比9.3%増。

単位：百万円

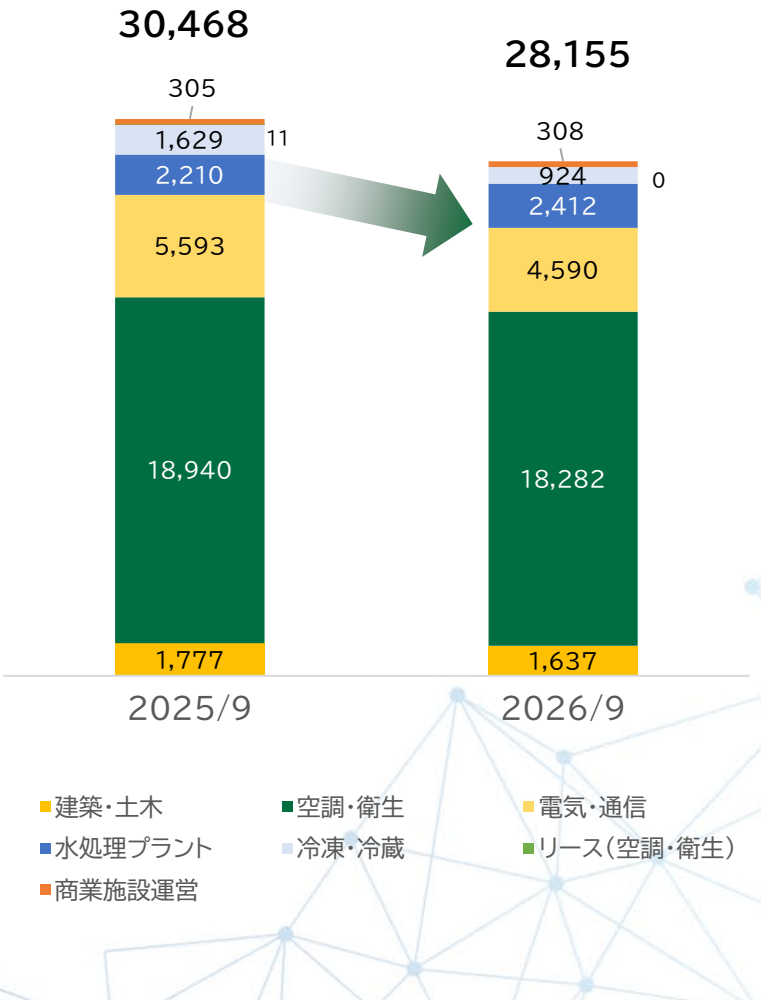


© 2026 YAMATO CORPORATION.

種類別連結受注高

（単位：百万円）		2025/9	2026/9	前年同期比	
				増減額	増減率
建設工事業	建築・土木	1,777	1,637	△140	△7.9%
	空調・衛生	18,940	18,282	△658	△3.5%
	電気・通信	5,593	4,590	△1,003	△17.9%
	水処理プラント	2,210	2,412	202	9.1%
	冷凍・冷蔵	1,629	924	△704	△43.3%
	リース（空調・衛生）	11	0	△11	△98.2%
	計	30,162	27,846	△2,315	△7.7%
商業施設運営業		305	308	2	1.0%
合計		30,468	28,155	△2,312	△7.6%

種類別連結受注高の推移



株式会社ヤマト © 2026 YAMATO CORPORATION.

主な受注工事

受注期	工事種類	建物用途	所在地	元請・下請	新築・改修	規模(♦)
2Q	建　築　・　土　木	官公庁庁舎	東京都	元　請	改　修	♦♦♦
2Q	空　調　・　衛　生	工場・倉庫	群馬県	元　請	新　築	♦♦♦
2Q	空　調　・　衛　生	病院施設	群馬県	下　請	改　修	♦♦
2Q	空　調　・　衛　生	工場・倉庫	神奈川県	下　請	新　築	♦♦
2Q	空　調　・　衛　生	ホテル旅館	千葉県	元　請	改　修	♦♦
2Q	水処理プラント	上下水道	千葉県	元　請	改　修	♦♦

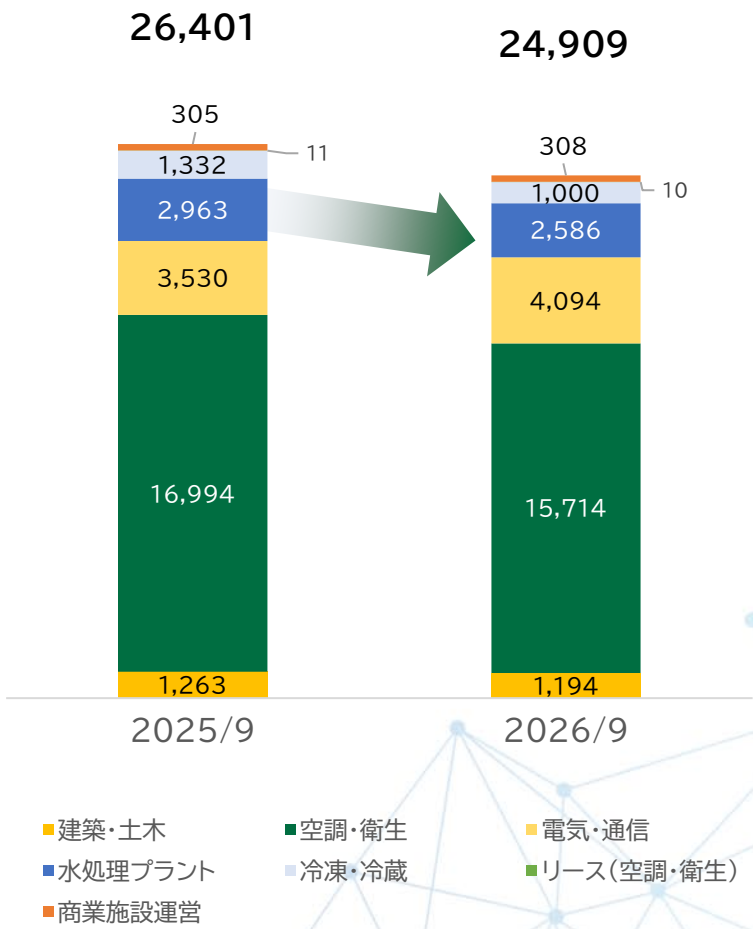
♦♦♦＝当社基準超大型
♦♦　＝当社基準大型

© 2026 YAMATO CORPORATION.

種類別連結売上高

（単位：百万円）		2025/9	2026/9	前年同期比	
				増減額	増減率
建設工事業	建築・土木	1,263	1,194	△69	△5.5%
	空調・衛生	16,994	15,714	△1,280	△7.5%
	電気・通信	3,530	4,094	563	16.0%
	水処理プラント	2,963	2,586	△377	△12.7%
	冷凍・冷蔵	1,332	1,000	△331	△24.9%
	リース（空調・衛生）	11	10	0	△4.0%
	計	26,095	24,600	△1,495	△5.7%
商業施設運営業		305	308	2	1.0%
合計		26,401	24,909	△1,492	△5.7%

種類別連結売上高の推移

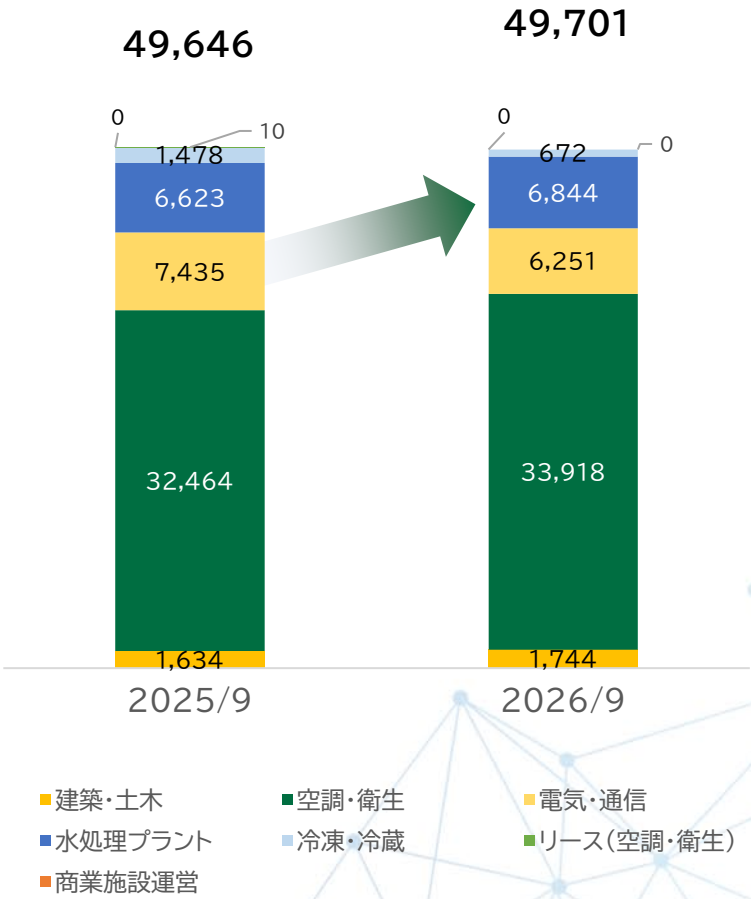


© 2026 YAMATO CORPORATION.

種類別連結繰越高

（単位：百万円）		2025/9	2026/9	前年同期比	
				増減額	増減率
建設工事業	建築・土木	1,634	1,744	110	6.8%
	空調・衛生	32,464	33,918	1,454	4.5%
	電気・通信	7,435	6,251	△914	△12.3%
	水処理プラント	6,623	6,844	221	3.3%
	冷凍・冷蔵	1,478	672	△805	△54.5%
	リース（空調・衛生）	10	－	△10	△100.0%
	計	49,646	49,701	55	0.1%
商業施設運営業		-	-	-	-
合計		49,646	49,701	55	0.1%

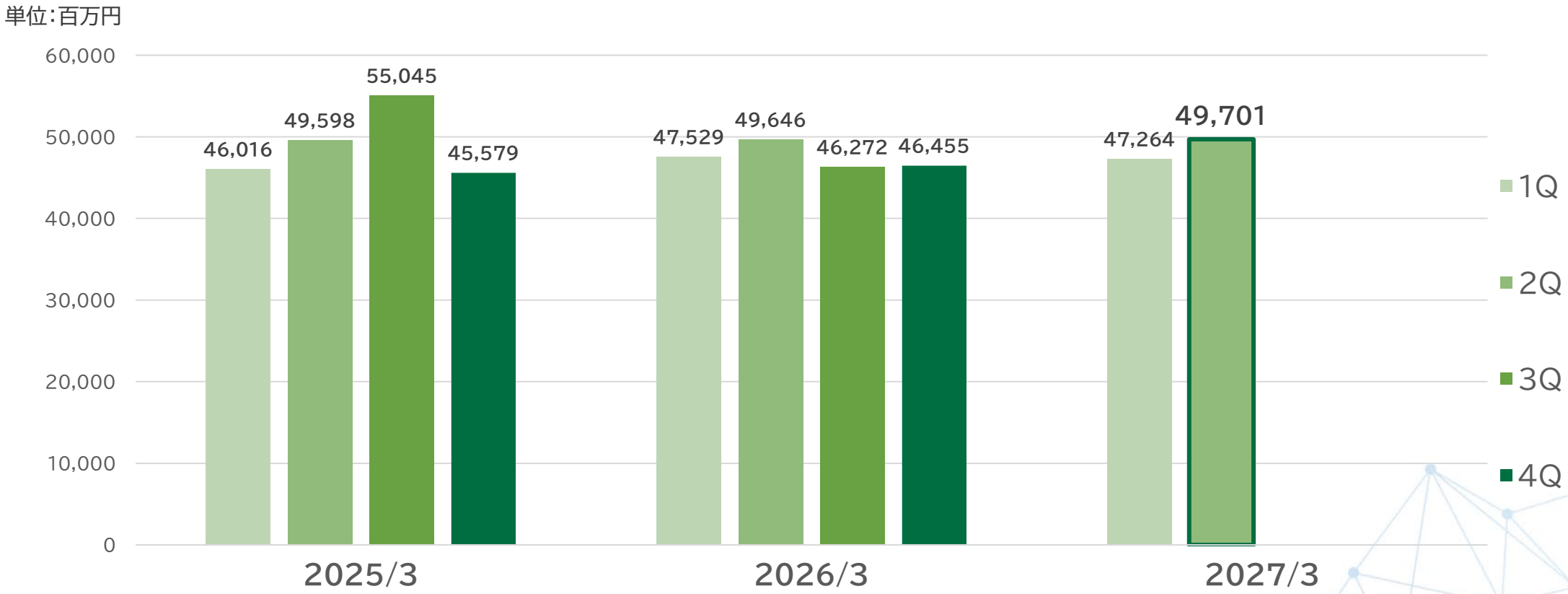
種類別連結繰越高の推移



© 2026 YAMATO CORPORATION.

四半期毎連結繰越高の推移

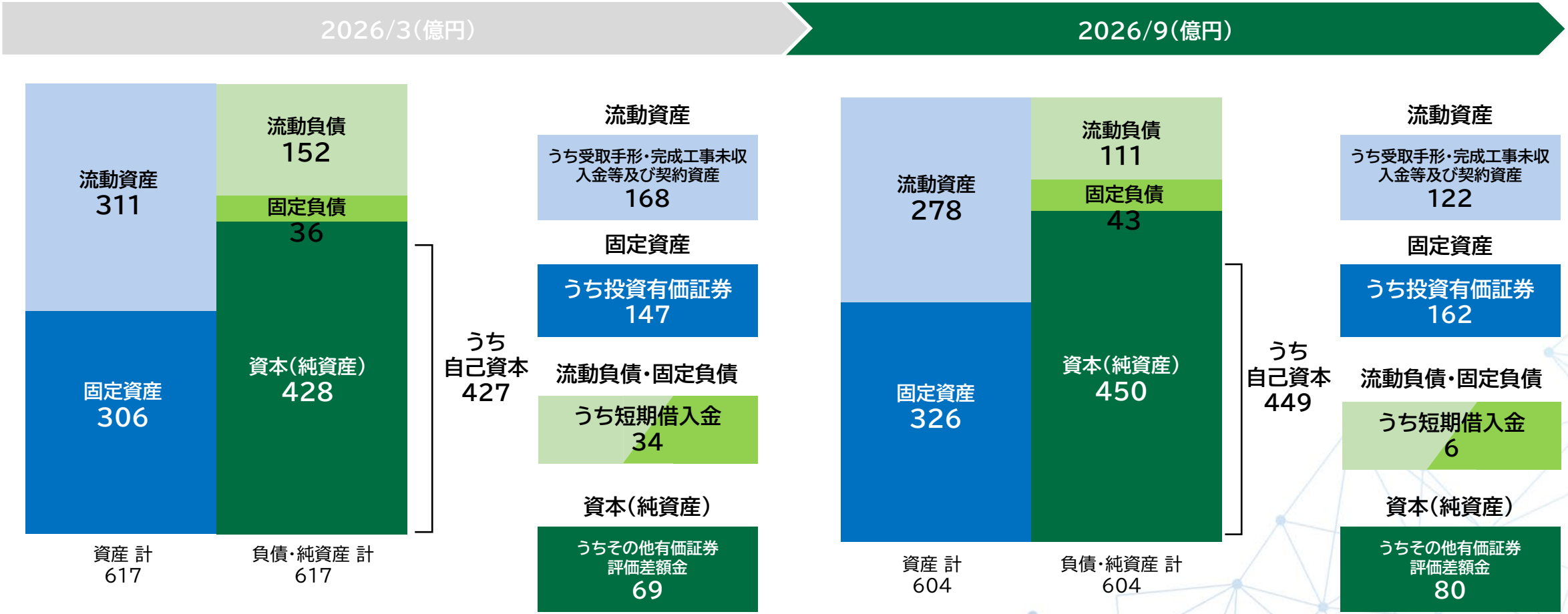
繰越高は安定した受注環境を背景に、前年同期・前々年同期並みの水準を維持し、今後の売上確保に向けて順調に推移。



© 2026 YAMATO CORPORATION.

連結貸借対照表（億円）

- 資産　主として売上債権の回収により「受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産」が減少する一方、保有する投資有価証券の時価上昇により「投資有価証券」が増加
- 負債　主として「短期借入金」が減少
- 純資産　主として保有株式の時価上昇等に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加



株式会社ヤマト © 2026 YAMATO CORPORATION.

連結貸借対照表（百万円）

資産の部		2026/3 実績	2026/9 実績	増減
流動資産	現金預金	8,351	**9,815**	1,464
	受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	16,805	**12,213**	△4,592
	電子記録債権	1,607	**1,914**	306
	有価証券	301	**110**	△191
	未成工事支出金等	2,283	**2,389**	105
	その他	1,771	**1,395**	△375
	貸倒引当金	△9	**△9**	0
	流動資産合計	31,112	**27,830**	△3,281
固定資産	有形固定資産	11,721	**12,230**	508
	無形固定資産	1,568	**1,595**	26
	投資その他の資産	17,363	**18,820**	1,456
	固定資産合計	30,654	**32,645**	1,991
資産合計		61,766	**60,475**	△1,290

負債の部・純資産の部		2026/3 実績	2026/9 実績	増減
流動負債	工事未払金	3,674	**4,391**	716
	買掛金	1	**1**	0
	短期借入金	3,450	**664**	△2,786
	1年内返済予定の長期借入金	60	**42**	△18
	未払法人税等	1,379	**951**	△428
	契約負債	2,121	**2,321**	199
	賞与引当金	1,251	**726**	△524
	完成工事補償引当金	170	**169**	△1
	その他	3,151	**1,858**	△1,292
	流動負債合計	15,262	**11,127**	△4,135
固定負債	長期借入金	442	**430**	△11
	その他	3,206	**3,874**	667
	固定負債合計	3,649	**4,305**	656
負債合計		18,911	**15,432**	△3,478
純資産合計		42,855	**45,043**	2,188
負債純資産合計		61,766	**60,475**	△1,290

© 2026 YAMATO CORPORATION.

2027年3月期 通期業績予想

Forecast

2027年3月期　通期連結業績予想

- 売上高は、豊富な手持ち工事を背景に、工業化を軸とした大型物件への対応力強化を進めることで、前期比増収見込み。
- 利益面では、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比9.0%増の50億円を見込む。

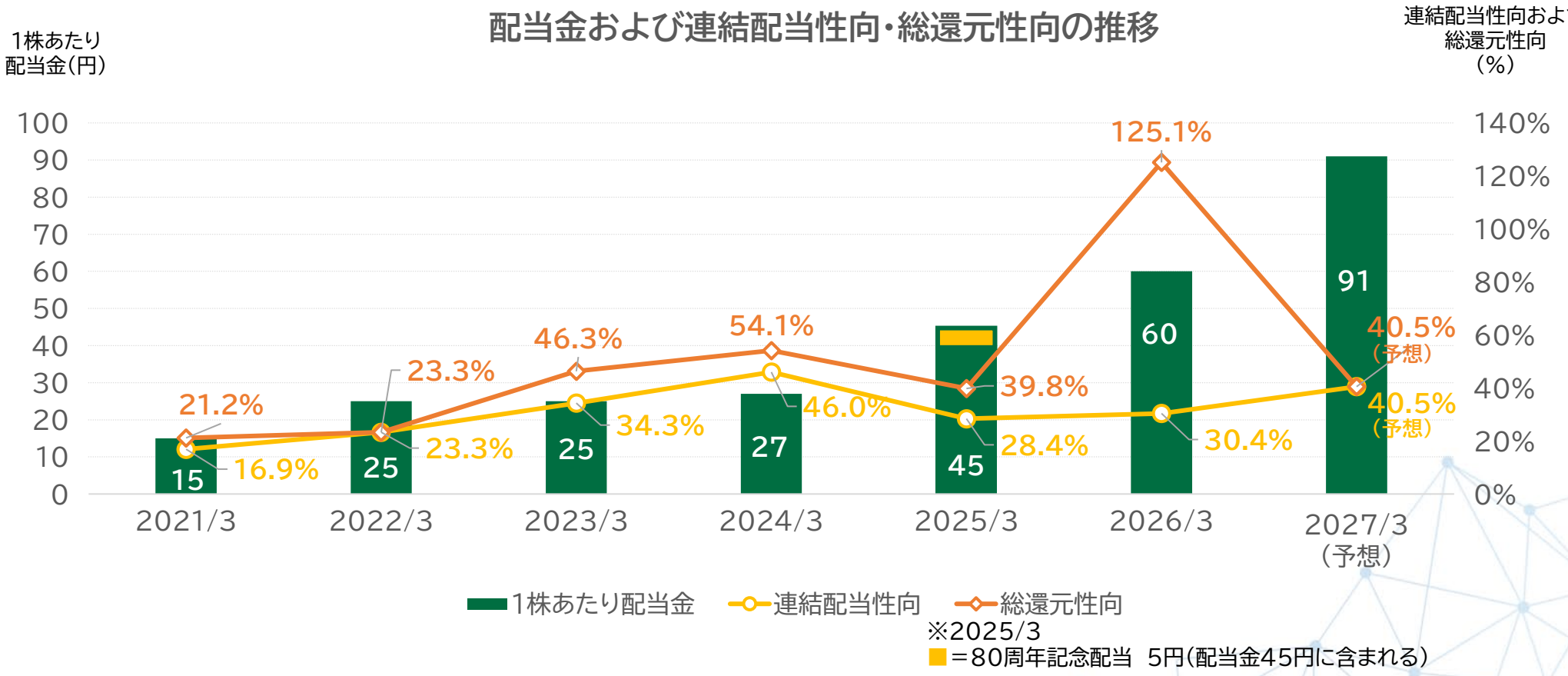
（単位：百万円）	2026/3（実績）	2027/3（予想）	前期比	
			増減額	増減率
売上高	54,327	**55,000**	673	1.2%
営業利益	5,401	**5,300**	△101	△1.9%
（営業利益率）	（9.9%）	（9.6%）		（△0.3pt）
経常利益	6,120	**5,800**	△320	△5.2%
（経常利益率）	（11.3%）	（10.6%）		（△0.7pt）
親会社株主に帰属する当期純利益	4,589	**5,000**	411	9.0%
（当期純利益率）	（8.5%）	（9.1%）		（0.6pt）
1株当たり当期純利益(円)	197.52	**223.32**	25.80	13.1%

© 2026 YAMATO CORPORATION.

株主還元

**連結配当性向の目標を従来の30%から45%へ引き上げるとともに、新たにDOEを導入し、安定的・継続的な株主還元を強化。
2027年3月期配当は前年比31円増の91円（DOE4.75%相当額）を予定。**

配当金および連結配当性向・総還元性向の推移



※2025/3
■＝80周年記念配当　5円（配当金45円に含まれる）

© 2026 YAMATO CORPORATION.

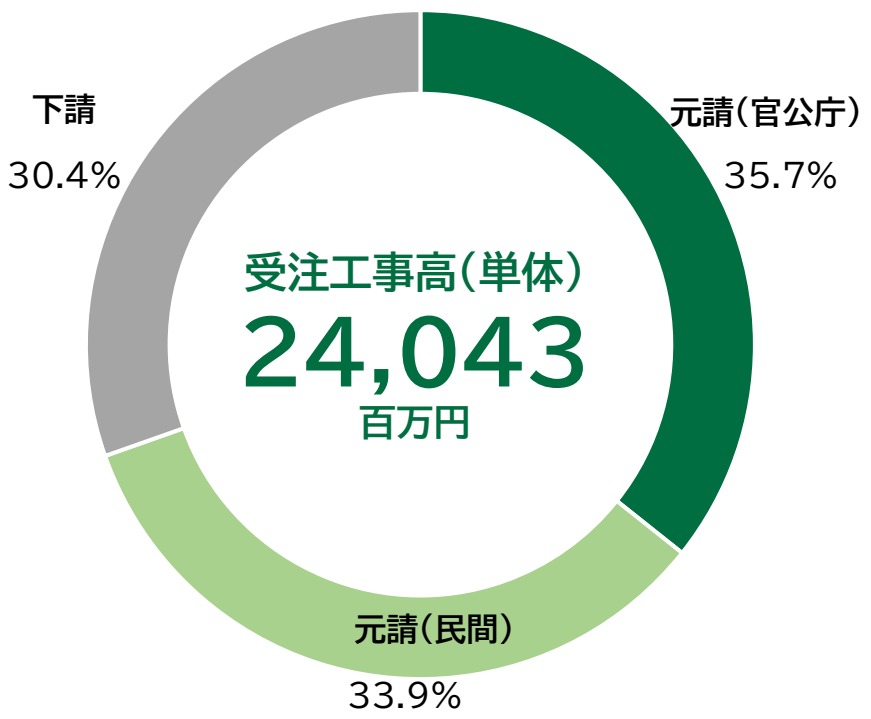
参考資料

Appendix

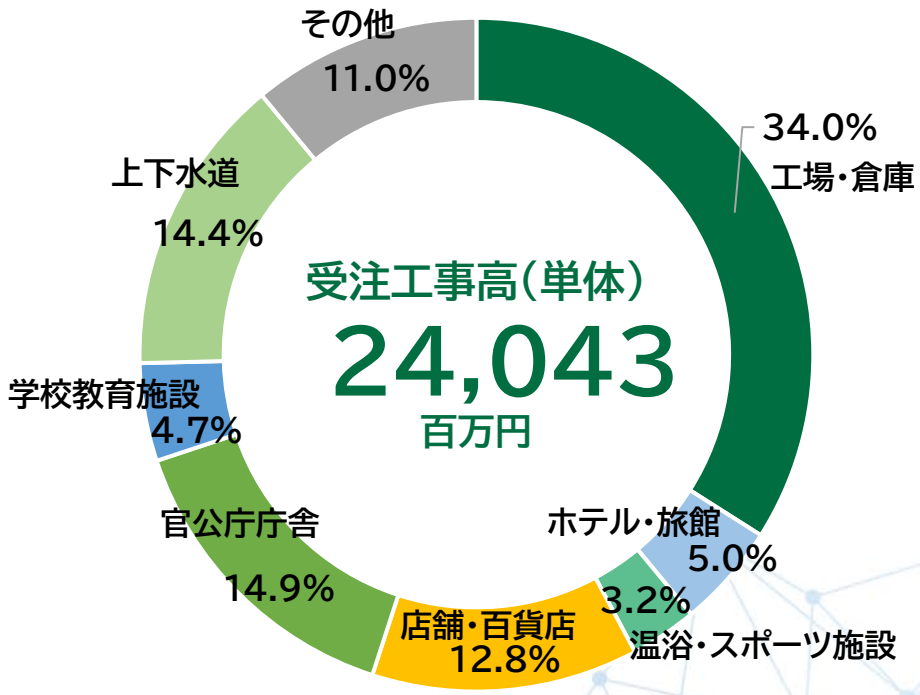
受注比率(単体)

官公庁・民間の元請案件および下請案件から幅広く受注を確保し、安定的かつバランスの取れた受注構成
建物用途は多岐にわたる中、工場・倉庫が34.0%と最も高い比率

元請・下請比率



建物用途別比率



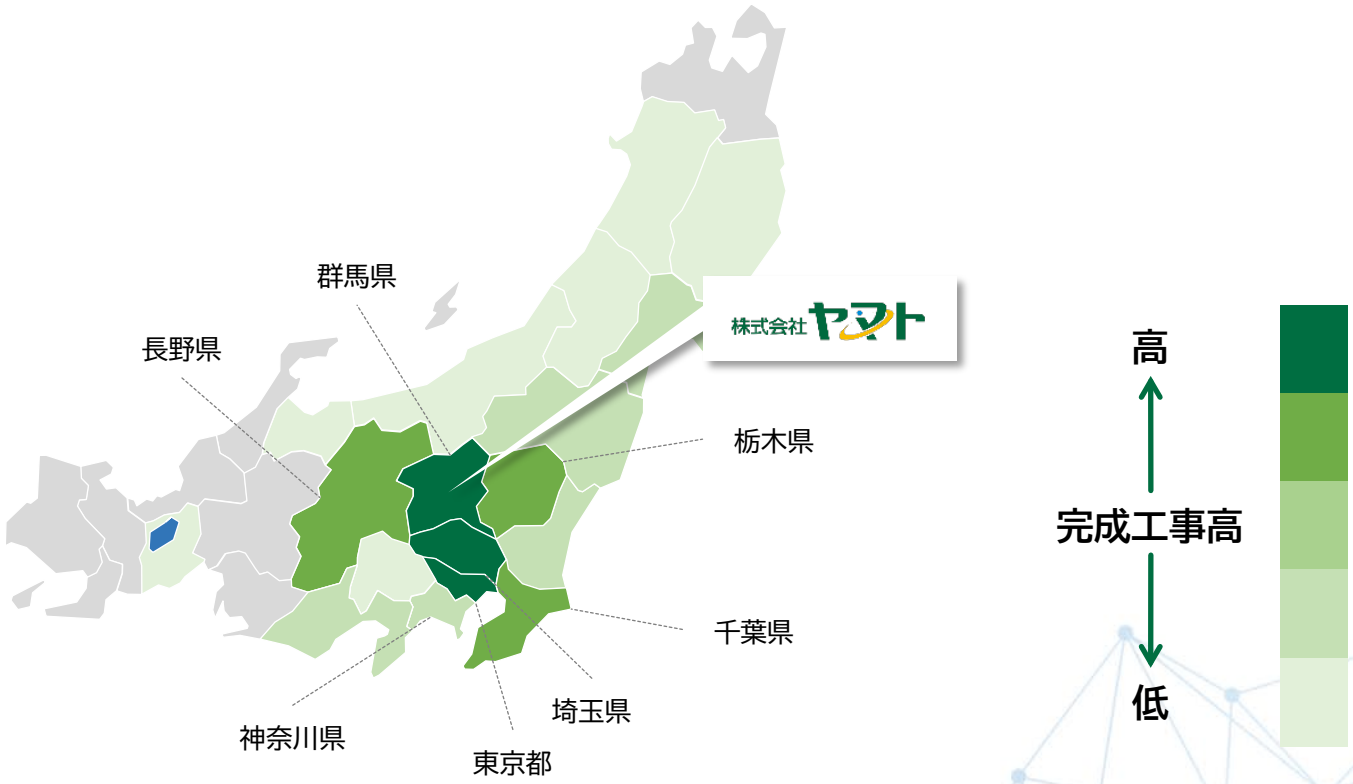
2026/9

© 2026 YAMATO CORPORATION.

地域別完成工事実績（単体）

群馬県での豊富な実績を基盤に、関東全域を中心として甲信越・東北地方へ事業を展開

群馬県	34.7%
埼玉県	16.0%
東京都	11.9%
長野県	9.8%
栃木県	9.1%
その他	18.5%



2026/9

© 2026 YAMATO CORPORATION.

工業化を核としたヤマトのものづくりプロセス

工業化とは

3次元CAD等のデジタル技術を活用して、設計段階から施工レベルのデータを連動し、工場で配管を事前加工することで、施工現場の省人化と手戻り・手直しの無い施工を可能に

STEP 1



予算や工期、空間の制約を踏まえ、顧客課題を解決する企画・提案力



STEP 2



完成形を3DCGで「見える化」。サポートセンターではさらにリアルな仕上がりを体感でき、空調・照明・衛生・建材など複数メーカーの実物の体験も含め、顧客の意思決定におけるギャップを解消





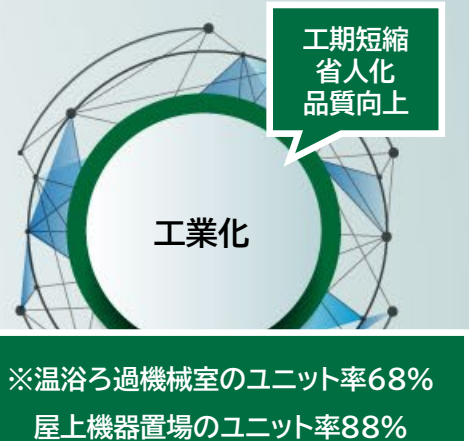
STEP 3



施工条件や配管システムの工業化・設備のユニット化までを踏まえた生産設計を実施



STEP 4



※温浴ろ過機械室のユニット率68%
屋上機器置場のユニット率88%

自社工場での配管のプレハブ加工・ユニット化により設備の高品質化と工期短縮を実現



※(道の駅まえばし赤城 温浴施設の場合)

© 2026 YAMATO CORPORATION.



今後ますます変化する社会・多様化する価値観を素早く認識し受け入れ、
社会課題に先回りして取り組むことで、価値創造の推進力をより一層強化し、人と社会の未来に貢献します。

ヤマト本社敷地内の「ヤマトビオトープ園」は、自然との共生を目指すヤマトの意思を体現する取り組みです。

© 2026 YAMATO CORPORATION.

建設プロダクト
ヤマト

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・ 要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約 したり、保証するものではございません。